



乳飲み子から墓守まで
近代の名品
ご来館

朝倉文夫《墓守》東京国立近代美術館蔵



かお
すがた
こころ

肖像と近代

2021
4/18<日>—5/23<日> 会期中無休 9:30—18:00 (17:30までに入場)

■主催：石川県立美術館 ■後援：北國新聞社、NHK 金沢放送局、北陸放送、石川テレビ放送、テレビ金沢、北陸朝日放送 ■出品協力：東京国立近代美術館

JAPAN
CULTURAL
EXPO 

第Ⅰ章 - 芸術を極める -

師や影響を受けた人物、また己の信ずる芸術を希求する芸術家の姿は、表現者達の心を強く揺さぶるものでした。

①安田鞞彦《大観先生像》東京国立近代美術館蔵

②平櫛田中《鶴筆試作（岡倉天心像）》東京藝術大学蔵
 鏡木清方《一葉》東京藝術大学蔵 他



第Ⅱ章 - 歴史に求める人間の姿 -

戦後、個人主義的な風潮から、歴史物語を題材とする作品は、とんと作られなくなりましたが、近代は歴史物語に理想を求め、作家も国家・社会からの要請に応じていった時代です。

③山田鬼斎《楠公小型銅像木型》東京藝術大学蔵

川端龍子《越後（山本五十六元帥）》大田区立龍子記念館蔵 他

狩野芳崖も、橋本雅邦も、
 上村松園も、平櫛田中也、
 高村光雲も、荻原守衛も、
 安田鞞彦も、鏡木清方も、
 伊東深水も、小倉遊亀も、
 川端龍子も、小磯良平も、
 棟方志功も、宮本三郎も、
 高光一也も、みんなみんな、
 近代の芸術家たちは、肖像
 に何を求めたのか？

第Ⅲ章 - 市井の人間像 -

ここに紹介するのは、顕彰のためでも社会からの要請でもなく、作家の純粋な創作意欲の発露として制作された作品です。

④高光一也《立秋》東京国立近代美術館蔵

⑤小磯良平《着物の女》神戸市立小磯記念美術館蔵 他



第Ⅳ章 - 親しき人を見つめる眼 -

対象と対峙する芸術家のきびしい眼差しも、親しき人の前では一時解放され、思わぬ傑作を生み出しました。

⑥宮本三郎《妻と私と》東京国立近代美術館蔵

⑦小倉遊亀《姉妹》滋賀県立美術館蔵 他



| アクセス | JR金沢駅 兼六園口(東口)より
 ・バス:「広坂・21世紀美術館前」下車徒歩5分
 ・タクシー:約15分

石川県立美術館

ISHIKAWA PREFECTURAL MUSEUM OF ART



〒920-0963 石川県金沢市羽町2-1
 ☎ 076-231-7580
<http://www.ishibi.pref.ishikawa.jp>

| 関連行事 |

■講演会: 4月18日(日) 14:00~15:30
 講師・廣田生馬氏(神戸市立小磯記念美術館学芸係長)

■みどころガイド: 4月25日から毎日曜日
 13:30~14:00 担当学芸員がスライドで紹介

■土曜講座: 5月15、22日 13:30~15:00

■ワークショップ パラパラかお絵本(小学生と保護者)
 4月29日(木・祝) 10:00~11:00(当日先着20名)
 参加無料(保護者2人目から要観覧料)

■子どもツアー(小・中学生)
 5月2日(日) 10:30~11:00
 参加無料(保護者2人目から要観覧料)

| 観覧料 | (2階コレクション展観覧料を含む)

一般 1,000円(800円)、大学生 800円
 (600円)、高校生以下無料

※()内は65歳以上の方及び20名以上の団体料金

入館の際はマスクの着用をお願いしています。
 また、手指の消毒・検温を実施しています。ソーシャルディスタンスを保ちながらのご鑑賞をお願いしており、混雑時には、入場規制を行う場合があります。

| 同時開催 | 2階コレクション展

- ・雪舟の《花鳥図屏風》と加賀藩の美術工芸
- ・加賀藩における狩野派の絵師たち
- ・工芸と暮らす・いしかわゆかりの肖像・優品選

